

(2) 活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成

- ア 地域活動の実践者の育成
- イ 地域活動の指導者、コーディネーターの養成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援

生涯学習課

市町村の社会教育活性化支援事業 1,521 千円

〔事業目的及び概要〕

市町村の社会教育主事の資質向上とその専門性を生かした社会教育の活性化のため、生涯学習課と教育事務所が連携し、個別課題の検討会や研修会を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 市町村個別課題検討会
教育事務所等の職員が各市町村に出向き、市町村それぞれの課題に応じ、課題解決に向けた方策や手法を検討する。12市町村で各5回程度開催する。また、必要に応じ県内の有識者を派遣する。
- (2) 地域人財ネットワーク形成会議
市町村域を超えた地域人材のネットワーク化を図る会議を行う。
各教育事務所 1回
- (3) 市町村社会教育主事専門研修
市町村の社会教育主事に必要な資質・能力の向上を図る実践的な研修を行う。

総合社会教育センター

パワフルAOMORI！創造塾 1,507 千円

〔事業目的及び概要〕

地域づくりに取り組む活動者の発掘と育成、ネットワーク（つながり）の形成・強化を図るため、対象地域を絞り、理論学習や活動実践の研修会を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 講座
 - ア 時 期：5月～12月（全8回）
 - イ 対 象：一般県民（県域対象）
 - ウ 会 場：県総合社会教育センター
 - エ 内 容：理論学習や事例研究等を通して、活動者としての資質を高める。

	内 容
1	地域活動について事例から学ぶ
2	事業構想の組み立て方を学ぶ
3	活動資金づくり・運用について事例から学ぶ
4	ちらし作成のポイントを学ぶ
5	情報発信の工夫について事例から学ぶ
6	人間関係づくりプログラムの手法を学ぶ
7	団体運営の工夫について事例から学ぶ
8	地域活動による地域の活性化について考える

- (2) 実践活動

- ア 時 期：5月～12月（全5回）
- イ 対 象：地域活動に意欲がある県民（10名程度募集する。）
- ウ 会 場：受講生の在住地区（三八地区）
- エ 内 容：実践を通して、地域活動を学び、活動者としての資質を高める。

	内 容
1	事業概要説明、オリエンテーション、仲間づくり
2	活動グループの立ち上げ、実践活動の企画・立案

3	実践活動の企画立案・決定、実践活動に向けた準備計画
4	実践活動に向けた最終準備、実践活動の運営確認
5	実践活動の実施、活動の振り返り

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 748 千円

〔事業目的及び概要〕

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上を目的として、地域課題の把握や具体的な解決方法を探るための理論学習、協働を活かした先進的取組事例の分析等の研修及び基礎的な研修を行う事業である。

〔事業内容〕

(1) 初任者研修

- 開催期日：5/19(火)
- 開催場所：県総合社会教育センター
- 開催回数：1回
- 対象：市町村教育委員会・関係団体等初任者
- 内容：社会教育行政の業務遂行に係る基礎的な知識・技能の習得

(2) 中堅職員研修

- 開催時期：6月～12月
- 開催場所：県総合社会教育センター
- 開催回数：5回(40名×5回)
- 対象：市町村教育委員会・関係団体等
- 内容：第1回 今、社会教育に求められているものと社会教育行政の役割、生涯学習社会構築に向けて
第2回 プレゼン力アップ！～効果的なプレゼンテーション・ソフトの活用～
第3回 地域づくり、人づくりを担う社会教育の重要性
第4回 社会教育分野における青少年教育の実際
第5回 よりよい親子の関係づくり～家庭教育の重要なポイント～

(3) 地区研修

- 開催時期：5月～9月
- 開催場所：県総合社会教育センター
- 開催回数：6回(1回×6地区 教育事務所管内)
- 対象：市町村教育委員会・関係団体等
- 内容：6地区の課題を掘り起こしながら、それぞれの課題に対応できる人財を育成
東青地区「社会教育施設の役割とその有効活用」
西北地区「既存施設の活用と住民のネットワークを生かした地域の活性化について」
中南地区「学びのきっかけをつかむ方策と学びを社会参加に生かす方策について」
上北地区「若者の社会参加と人財育成のあり方」
下北地区「生涯学習・社会教育における社会教育施設の役割と地域人材の活用について」
三八地区「青少年の学習活動や社会参加活動の推進、充実について」

(3) 一人一人の主体的な学習と社会参加の推進

- ア 関係機関との連携による多様な学習活動の支援
- イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

生涯学習課

アクティブシニアによる地域の未来応援事業 6,725 千円

〔事業目的及び概要〕

人口減少下における地域コミュニティの持続と活性化のため、社会参加活動に積極的に取り組むシニア世代及びその前段階にあるプレシニア世代を「アクティブシニア」と称し、アクティブシニアの持つ知識、技術、経験を学校支援、家庭教育支援、子どもの地域活動支援などに生かすモデル事業を実施するとともに、アクティブシニアの掘り起こしを図るフォーラムや講座等に取り組む事業である。

〔事業内容〕

(1) 地域の未来応援実践モデルの構築

次代の地域の担い手を育てるため、シニア及びプレシニアの持つ知識、技術、経験を、学校支援、家庭教育支援、子どもの地域活動支援などに生かすためのモデルを構築する。このため、県内の活動団体や実行委員会等に委託してモデル事業を実施する。

ア 事業実施計画公募期間 7月～8月中旬

イ 事業の実施期間 10月～2月

(2) シニアのファシリテーション能力の向上

シニア及びプレシニア世代の社会参加活動をリードする新たな人財の掘り起こしを行うとともに、リーダー、コーディネーター及び実践者として必要となる、企画力を高めるためのワークショップ、及び学びや活動を促す力・調整能力・合意形成を引き出す力を高めるための講座を実施する。

※ファシリテーション能力：学びや活動を促進する力、調整能力、合意形成を引き出す能力

ア 地域づくりワークショップの開催 7月

イ ファシリテーター育成講座の開催 9月 4地区で開催

(3) 市町村と活動団体のネットワークの形成

市町村教育委員会担当者がアクティブシニアによる活動団体を支援し、未来につながる地域づくりを推進する仕組みをつくとともに、県及び市町村相互のネットワークを構築する。また、県外先進地活動団体との交流会を開催し、意欲の向上を図る。

ア アクティブシニア応援担当者会議の開催 10月

イ 先進地活動団体との交流会の開催 10月下旬～12月上旬

先進地視察交流先：3コース（北秋田市、二戸市、大和町） 各40名募集

(4) 社会参加活動の拡大と普及・啓発

社会参加活動の意義やアクティブシニアの知識、技術、経験を地域活動に生かすことの重要性を伝え、シニア及びプレシニアの意識啓発を図る。

ア 地域の未来応援フォーラムの開催 6/27(土) (県総合社会教育センター)

○内容：大学教授による講演、県内活動者によるパネルディスカッション

イ 活動PR誌、チラシの作成及び配付

県立学校開放事業 637 千円

〔事業目的及び概要〕

県民の生涯学習の推進と開かれた学校づくりの促進を目的として、県立学校の有する専門性の高い教育機能を開放する事業である。

〔事業内容〕

県立学校の有する専門性を生かし、公益性の高い公開講座を開設する。

実施予定校数：6校

対 象：一般県民（小中高生を含む）

総合社会教育センター

あおもり県民カレッジ運営業務

〔事業目的及び概要〕

県民の学習ニーズが多様化・高度化する中、興味・関心の高いテーマについて体系的・継続的に学習し、その学習成果が社会から適切に評価され、学習成果を生かした社会参加活動を行うことを目的として、県民の学習活動を総合的に支援する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 運営全般
 - ア カレッジ学生への対応
入学受付、学生証の交付、単位認定、学籍データ管理、県民カレッジホームページの修正・更新
 - イ 連携機関への対応
連絡調整、連絡会議開催、担当者会議開催、登録受付、データ管理、問合せ対応、タイアップによる講座・イベント開催
 - ウ 事務局維持管理
機器・用品の維持管理
- (2) 普及啓発
 - ア 生涯学習フェアの開催
 - イ 普及啓発情報収集
連携機関等への取材、社会参加に関する情報の収集
 - ウ 学生募集
 - エ 生涯学習HPの作成
- (3) 学習情報提供・学習相談
 - ア 学習相談
 - イ 学習情報提供
学習機会情報・活動機会情報の収集及び提供
 - ウ 情報紙「てのひら」作成
- (4) 学習機会提供
 - ア 地域キャンパス講座開催：県内6地区にて開催
 - イ ボランティア活用支援
 - ウ 専門講座開催
- (5) 評価サービス
 - ア 県民カレッジ学生への評価サービス
- (6) 学友会活動支援
 - ア 学習機会の情報交換
 - イ 講座開催等の連携

元気青森人を創造するeラーニング推進事業 902千円

〔事業目的及び概要〕

県民の誰もがいつでもどこでも手軽に学習できることを目的として、インターネットによる自己の生き方や働き方について考えたり人生設計したりするための学習講座の配信を行う事業である。

〔事業内容〕

インターネットによる学習教材の配信(eラーニング)

- (1) 元気青森人 PowerUp コンテンツ
- (2) あおもり学インターネット講座
- (3) あおもり子育てネット

学習情報の収集・提供事業 6,618 千円**〔事業目的及び概要〕**

県民の学習活動を支援することを目的として、各種学習情報を収集し、インターネットにより県民に提供する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 学習情報の収集・提供
4 情報(学習機会、指導者人財、団体・サークル、視聴覚教材)の収集・提供を行う。
- (2) サーバ・パソコン機器等維持管理
青森県学習情報提供システム用サーバ・パソコン機器等を維持管理する。

青森県視聴覚ライブラリー運営事業 693 千円**〔事業目的及び概要〕**

県内の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的として、青森県総合社会教育教育センター内に「青森県視聴覚ライブラリー」を設置・運営し、16mm フィルムをはじめとする県内の貴重な映像資料を収集・保管するとともにその活用を図る事業である。

〔事業内容〕

- (1) 生涯学習社会の充実を図る基礎資料を得るための調査・研究
- (2) 社会教育及び県民の学習活動のための研修施設・視聴覚機材の提供
- (3) 教育メディア利用セミナー(放送教育研究会東北大会青森大会)の開催
- (4) 青森県視聴覚ライブラリー連絡協議会への加入
- (5) 視聴覚教材の購入

ボランティア活動支援機関連絡会議**〔事業目的及び概要〕**

ボランティア活動を支援する機関のネットワークの構築・強化を図ることを目的とし、情報共有・情報交換を行う会議を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 開催時期 7 月
- (2) 開催場所 県内 3 地区 津軽地区、南部地区、下北地区
- (3) 会議内容 各機関の活動状況等について

県立図書館**近代文学館 特別展開催 2,075 千円****〔事業目的及び概要〕**

青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに添った特別展を開催する事業である。

〔事業内容〕

○名称：特別展「青森の文学者たちの戦前・戦中」

○会期：7/18(土)～9/23(水)

○内容：展示、文学講座、パネル展を実施する。

ア 展 示 昭和 6 年、満州事変が勃発し、日本は戦争への道を歩き出す。青森県出身・在住の文学者たちも大勢が時代の波に翻弄された。エノケン一座に見送られて出征した菊谷栄は昭和 12 年に戦死。北村小松は海軍報道班員として従軍、太平洋戦争中は南方諸島に赴いた。石坂洋次郎は陸軍報道班員としてフィリピンに従軍。召集を受けた今官一は戦艦長門に乗り、レイテ沖海戦を経験した。太宰治は防空壕での体験を基に「お伽草紙」を生み出し、郷里に疎開している。戦後 70 年を機に、青森の文学者たちが戦前・戦中をどのように生きたのか振り返り、文学が持つ力の大きさに光を当てる展示を行う。

- イ 文学講座 関係者・研究者等招き、文学講座を開催する。第1回は、県外から著名な講師を招いての基調講演やシンポジウム等とし、第2回は、県内文学研究者等による講座を行う。
- ウ パネル展 若い世代や遠隔地の県民へのサービスとして、特別展終了後に特別展の内容を再構成したパネルを作成し、学校・公共施設等で巡回展を開催する。

近代文学館 企画展開催 763 千円

〔事業目的及び概要〕

青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、近代文学館が収蔵している資料を展示・公開する企画展を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 「青森県近代文学館名品展 2—文学者たちの絆」
- 会期：4/25(土)～6/21(日)
- 内容： 青森県人同士、また中央で活躍する著名な文学者等との交流から生みだされた豊饒なる青森文学。敬愛する島崎藤村を青森駅に出迎えた鳴海要吉と秋田雨雀。師・横光利一の葬儀の日、菊岡久利は万感の思いを込めて「光・影、枢車ゆく」と記した。若き日の井上靖と今官一は吹雪の夜、弘前の西洋料理店で同人雑誌創刊への想いを熱く語り合った——文学という絆で強く結ばれた県ゆかりの文学者たちの群像を、前年度の名品展に引き続き、貴重な資料とともに紹介する展示を行う。
- (2) 「戦後—青森文学と青森の復興」
- 会期：10/24(土)～12/13(日)
- 内容： 昭和20年8月15日正午、昭和天皇はラジオ放送によって国民及び陸海軍にポツダム宣言の受諾と軍の降伏の決定を伝え、日本は終戦を迎えた。長期にわたる戦争による痛手は深く、人々は疲弊しきっていた。その中、太宰治、北島八穂、石坂洋次郎、高木彬光、今官一といった県出身作家は、いち早く文学活動を再開し、華々しい活躍をみせた。
- 青森の地においても、中断していた戦前からの俳句や川柳、短歌雑誌が復刊されるとともに、俳誌「暖鳥」や川柳誌「ねぶた」などが創刊され、20年代後半には文芸誌「無名群」や「北狄」が創刊され、青森の「文芸復興」は本格化していく。戦後70年の節目を迎え、焦土から立ち上がる青森県の姿を、文学の復興をとおして紹介する展示を行う。
- (3) 「本はもう一人の私—児童文学者・鈴木喜代春」
- 会期：1/30(土)～4/10(日)
- 内容： 大正14年、南津軽郡田舎館村に生まれた鈴木喜代春は、昭和20年に青森師範学校卒業後、黒石市内の小学校で教鞭をとり、29年からは千葉県内の小・中学校に勤務。在職中より児童文学作品を執筆し、63年『津軽の山歌物語』で第12回日本児童文芸家協会賞を受賞した。故郷青森を舞台にした作品、歴史上の人物、大地に生きる人々、学校や子どもたちの生活を描いた作品を数多く発表し、平成26年には200冊目の著書となる『女性小学校長 関よねものがたり』を刊行している。青森県を代表する児童文学者・鈴木喜代春の作品と業績を紹介する。

アウトリーチサービス推進事業 221 千円

〔事業目的及び概要〕

来館による図書館利用が困難な重度心身障害者や要介護高齢者等に対して、宅配便による図書の搬送を行い、来館しなくても図書館資料を利用できる環境を提供する事業である。

〔事業内容〕

利用登録者から、電話・郵便・FAXにより希望図書の申込みを受け、貸出・返却については宅配便を利用して搬送する。(4月1日(水)～3月31日(木))

(4) 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

生涯学習課

生涯学習推進基盤整備事業(生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会) 988 千円

[事業目的及び概要]

生涯学習振興法の趣旨を踏まえ、本県の生涯学習推進体制を整備するため、生涯学習推進本部等を運営する。また、生涯学習推進に資する施策の重要事項について総合的に調査、審議するため、生涯学習審議会を運営する。

[事業内容]

(1) 生涯学習推進本部

生涯学習に関する関係部局相互の連携、協力を図り、生涯学習関連施策を一体的、効果的に進めるため、県の関係各課、出先機関等が実施する生涯学習関連事業について調査を行い、結果を取りまとめる。

(2) 青森県生涯学習審議会

- 委員：15 名
- 任期：2 年（H26/8/21～H28/8/20）
- 方針：青森県教育振興基本計画が目指す状態の実現のため、生涯学習関連施策について総合的に調査、審議する。
- 会議等の予定：第 3 回（6 月）、第 4 回（10 月）、第 5 回（2 月）

生涯学習・社会教育総合調査研究事業 1,230 千円

[事業目的及び概要]

本県における生涯学習・社会教育の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、生涯学習・社会教育推進に関する調査・研究を行う事業である。

[事業内容]

- 一般県民、社会教育団体等を対象にアンケート調査を行い、その結果を分析して報告書を作成する。
- 調査テーマ：「(仮) 時代の変化（現代的課題）に対応した社会教育の在り方に関する調査研究」
- 調査対象：一般県民 3,000 人
- 顧問の委嘱：調査研究に係る指導助言のため、大学教授等に調査研究顧問を委嘱する。
- 調査結果の公表：報告書を作成し、関係機関に配布する。

青森県社会教育委員の運営 682 千円

[事業目的及び概要]

本県の社会教育推進体制の充実を図ることを目的として、社会教育法第 17 条に基づき青森県社会教育委員を設置し、協議及び調査研究を行う。

[事業内容]

第 32 期青森県社会教育委員

- 委員：12 名（うち専門部会委員 5 名）
- 任期：2 年（H26/10/19～H28/10/18）
- 第 32 期青森県社会教育委員の会議における調査研究テーマ
「学びとつながりを生み出す家庭教育支援の在り方」
- 会議の予定
 - 第 1 回専門部会 5 月上旬：調査研究の具体的な内容の精査、方法について
 - 第 3 回全体会 7 月中旬：調査スケジュールについて、議長の選任について
 - 第 2 回専門部会 11 月中旬：調査・分析の結果について
 - 第 3 回専門部会 1 月中旬：調査結果の精査、調査研究報告書の骨子について
 - 第 4 回全体会 2 月中旬：調査研究報告書の骨子について

市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成 261 千円**〔事業目的及び概要〕**

本県社会教育施策の企画・立案に向け、各市町村における社会教育事業実施状況及び社会教育施設・社会教育関係職員・生涯学習推進体制の状況等について調査するとともに、調査結果等をまとめた資料を作成する事業である。

〔事業内容〕

市町村の社会教育現状調査（生涯学習推進体制等の状況に関する調査含む）
「平成 27 年度青森県の社会教育行政」の作成配付（600 部作成予定）

市町村の社会教育活性化支援事業（再掲） 1,521 千円

（P18 (2)活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成に掲載）

社会教育主事派遣事業 7,884 千円**〔事業目的及び概要〕**

町村等の社会教育行政及び社会教育指導体制の充実を図ることを目的として、社会教育主事の資格を有する学校職員を町村等教育委員会に派遣する事業である。

〔事業内容〕

派遣先 上北地方教育・福祉事務組合 派遣者数 1 名

生涯学習専門講座派遣事業 168 千円**〔事業目的及び概要〕**

生涯学習の振興において中核的な役割を果たす専門的職員を育成することを目的として、関係職員を中央研修に派遣する事業である。

〔事業内容〕

派遣先 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
講座名 社会教育主事専門講座、地域教育力を高めるボランティアセミナー
派遣人数 各 1 名

社会教育主事等一般研修 155 千円**〔事業目的及び概要〕**

県の社会教育主事の資質・能力の向上を図ることを目的として、社会教育主事の専門性を高める研修を実施する事業である。

〔事業内容〕

第 1 回 5/11（月） 県総合社会教育センター 第 2 回 1/15（金） 場所未定

社会教育主事有資格者育成派遣事業 437 千円**〔事業目的及び概要〕**

社会教育指導体制の充実を図り、社会教育主事有資格者を育成することを目的として、教育事務所等の指導主事、小・中学校の教員を社会教育主事講習に派遣する事業である。

〔事業内容〕

派遣研修 社会教育主事講習（秋田大学） 研修期間 7/14（火）～8/7（金）（7/14～7/17 は宿泊研修）

ボランティア関係機関職員養成講座 189 千円**〔事業目的及び概要〕**

ボランティア関係機関職員の専門性と資質の向上を目的とし、本県の社会参加活動の推進及び充実を図る事業である。

〔事業内容〕

- (1) 対 象 市町村教育委員会及び首長部局担当者、市町村ボランティア担当者、各市町村ボランティア連絡協議会等
- (2) 開催時期 6 月～10 月

- (3) 開催場所 県総合社会教育センター
 (4) 人数 30名程度
 (5) 開催回数 年間3回
 (6) 講座内容
 ア 「『学ぶ防災』のプログラムの取組」 (仮題)
 イ 「視点を変えてみると、違った世界が見えてくる」 (国際ボランティア) (仮題)
 ウ 「除雪ボランティアを通じた互助・共助コミュニティの構築」 (仮題)

在学青少年育成費補助事業 359千円

[事業目的及び概要]

青少年教育の機会拡充をより一層図ることを目的として、県内の在学青少年(高校生)を対象とした講演会事業に対して助成を行う事業である。

[事業内容]

東京青森県人会及び青森県高等学校長協会が実施する高校生を対象とする講演会事業に助成する。

- 内容：東京及びその近郊に在住する青森県出身者ならびに青森県にゆかりのある方々を講師に、高校生を対象とした講演会を開催する。
- 実施場所：県内高等学校 6校(青森東高等学校平内校舎、百石高等学校、岩木高等学校、五所川原工業高等学校、三戸高等学校、八戸聖ウルスラ学院高等学校)

青森県連合青年団活動費補助事業 655千円

[事業目的及び概要]

県内の青年による活動の振興を図るために、青森県連合青年団が行う事業に対し助成を行う。

[事業内容]

青森県連合青年団が実施する下記の事業に助成する。

補助対象事業名	期日	開催場所	参加人数等
第64回青森県青年大会 (主催事業)	8月中旬～9月中旬	青森市	100名
第64回全国青年大会 (主催：日本青年団協議会)	11月中旬	東京都：東京体育館 (東京都：日本青年館)	40名
第61回青森県青年問題研究集会 (主催事業)	1月下旬	青森市 青森卓球会館	20名

青森県地域婦人団体連合会補助事業 200千円

[事業目的及び概要]

県内の地域における女性の活動の振興を図ることを目的として、青森県地域婦人団体連合会が実施する事業に対して助成を行う事業である。

[事業内容]

青森県地域婦人団体研修大会への助成

- 開催期日：8月下旬
- 開催場所：アピオあおもり イベントホール
- 参加者数：230名

総合社会教育センター

生涯学習・社会教育関係職員研修講座(再掲) 748千円

(P19 (2)活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成に掲載)

県立図書館

県立図書館資料整備 61,307 千円

〔事業目的及び概要〕

県民の生涯学習の拠点として、充実した図書館サービスを提供することを目的として、利用者の幅広い学習のための資料や情報などの整備を図る事業である。

〔事業内容〕

図書、定期刊行物、視聴覚資料等の整備

図書館 56,811 千円

近代文学館 4,496 千円

市町村立図書館等職員研修事業 69 千円

〔事業目的及び概要〕

市町村立図書館等の運営上の課題解決、情報交換及び職員の資質向上を図ることを目的として、初任者研修及び実務研修を実施するとともに、相互協力事業を円滑に行うために青森県立図書館事業等担当者会議を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 県立図書館事業等担当者会議 年 1 回 5/13(水)
- (2) 初任者研修 年 3 回 5/27(水)・6/11(木)・6/25(木)
- (3) 実務研修 年 1 回 10/7(水)